

令和6年度報告の要点

2024年度は、通常業務への回帰を目指し、印刷業界の新しい価値を提案。生成AI技術も含めて、必要とされる印刷ビジネスを模索した。イベントはリアルとオンラインのHybrid開催を基本とし、page展やJAGAT大会もその形式を継続。特にJAGAT大会は、本社の設備を活用しながら、地方大会も巻き込んだ形に発展させた。page2025では、新聞製作展示会であるJANPSと共催のためリアル展示会を強化し、スポンサーセッションや会場セミナーなども充実させた。

・2024年度通期予算：収入300,000千円／支出297,860千円／差益2,140千円

・収支実績

収入303,795千円（予算比101.3%、前年比102.3%）

支出327,151千円（予算比109.8%、前年比107.7%）

差益 △23,356千円（予算差△25,496千円、前年差△16,475千円）

・会員数の増減

会員数：621社（内訳＝正会員：608社／団体会員：5団体／賛助会員：8社

内 訳：入会11社（目標10社、昨年実績4社）／退会23社（予測20社、昨年度実績29社）

・会員誌『JAGAT info』を12冊刊行。

・『第46回 印刷産業経営力調査 2024』を実施。

印刷経営に関する調査を実施（3～5月）。分析（5～9月）、回答社へのフィードバック、リアル&オンライン併催による報告会（9/25）、『印刷マネジメントブック2024』の刊行（10/4）、分析レポートの『JAGAT info』掲載（2024年7～11月号）。

・第62期・第63期DTPエキスパート認証試験をCBT方式にて実施。本試験の申請者数は346名（前年比5名減）、更新試験の更新率は8割を維持。

・『印刷白書2024』を発行。

・DTPエキスパートの実技試験の解説書籍『DTPエキスパート・マイスターBOOK』発刊（9月30日）1か月で初回ロット分（200部）完売となり、増刷。

・新入社員向けの「学び放題サービス(オンデマンド配信)」に61名申込（3,539千円）。売上増に貢献。

・JAGAT大会をJAGAT会場とオンラインのハイブリッド形式で実施。147名参加。

・page2025をJANPS（日本新聞製作技術展）との併催で開催。144社480小間が出席（前回148社447小間）。来場者は24,580名（前回21,580名）。

・page2025カンファレンス・セミナーを全13本実施。延べ530名が参加。

・職員の人員数

2024年度末 常勤役員3名、正規職員8名、非正規職員12名、計23名

2023年度末 常勤役員2名、正規職員11名、非正規職員11名、計24名

2022年度末 常勤役員2名、正規職員12名、非正規職員10名、計24名

■研究・教育部

●部門方針

研究調査部とCS部は、今年度から統合され研究・教育部となった。印刷業界を取り巻く環境が急速に変わるなか、会員のニーズを的確にとらえ、適した形でサービス提供を行っていく。

印刷の普及・振興・発展を視野に、印刷全般の研究と会員への印刷情報の発信を通して、広く印刷ビジネスの成長に貢献すべく研究調査活動を展開する。研究調査領域は、①技術②メディア③市場から構成。研究調査の成果は会員への情報発信を通して、広く業界全般に届ける。

毎月の研究調査の成果は、機関誌『JAGAT info』を通して会員に届ける。年間の研究調査の成果は『印刷白書』に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会、pageカンファレンス等、様々な機会を通じて発信する。

デジタルメディアの加速度的な普及等により、印刷会社はより広い事業領域への対応を求められるようになっている。そこで、2024年度は印刷ビジネスのサステナビリティをテーマとする。

「便色カード」サポートの普及啓発活動、大学等での講師活動、印刷会社が発行主体のフリーペーパー調査など、公益法人として積極的な印刷メディアの普及振興活動を継続する。資格試験制度はCBTスタイルの定着をめざす。

page2025展示会は、印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、他団体とのコラボレーションゾーン、展示会場内セミナーイベントを行うことで来場者増を図っていく。

教育サービスは、各社の教育計画／教育体系づくりを支援しつつ、セミナー、通信教育、コンサルティング、書籍発行等の企画、プロモーション、運営をニーズに応えるようタイムリーに効率よく実行していく。

●計画の要点・重点目標

- 研究会活動は印刷ビジネスのサステナビリティを主眼において、「市場動向」「デジタル印刷」「需要創造」を重点とした研究調査とミーティングを企画、展開して情報発信する。
- 印刷関連団体（日本印刷産業連合会・全日本印刷工業組合連合会等）への協力。
- 『印刷産業経営動向調査』『デジタル印刷レポート』『印刷業毎月観測アンケート』『カラーマネジメント技術サポート』など、従来の研究調査・コンサルティングを継続する。
- 資格試験では、CBTに移行したDTPエキスパートの認知度向上を図るとともに、より受験しやすい制度に近づける検討を続ける。
- pageは来場者のニーズに即した、展示内容、ゾーン形成、会場内セミナーイベントを企画することで、来場者の満足度と来場数を高めていく。結果として出展社の費用対効果と満足度を高めた、宣伝効果の高いpage展の企画の充実化に注力する。
- 教育商品の主体であるセミナーは、オンラインライブ配信セミナーの開催に加え、いつでも繰り返し学習ができるオンデマンドセミナーの拡充も計画する。全都道府県の印刷関連企業が受講しやすい環境と機会をつくる。

◆研究会

2024年度実績

5月14日 理解しよう・使いこなそう カラーマネジメント

町野玲奈氏（エプソン販売）

鳥越理絵氏（エプソン販売）

竹井伸幸氏（SANYO-CYP）

庄司正幸（JAGAT）

笹沼信篤（JAGAT）

5月28日 変革期の流通小売業の現在と支援を巡って

祝 辰也氏（流通経済研究所）

有村潤也氏（読売IS）

山岸祥晃氏（TOPPANデジタル）

6月20日 drupa2024 徹底検証

有賀誠氏（DIG JAPAN）

星名勸氏（XEIKON JAPAN）

吉川武志氏（日本プリンティングアカデミー）

7月9日 地域プロモーションメディア3種の成功事例と動向

ー自治体のパンフと動画活用状況、フリーペーパーの動向ー

森永陸一郎氏（電通）

藤井建人（JAGAT）

畠田千鶴氏（地域活性化センター）

7月25日 drupa2024 徹底検証 第2弾

田口 兼多氏（日本HP）

中尾 誠一氏（Hunkeler AG）

安田 庄司氏（富士フイルムグラフィックソリューションズ）

秋山 進氏（キヤノンマーケティングジャパン）

9月19日 わかりやすさ・伝わりやすさと印刷デザイン

郡司 秀明（JAGAT）

武田 一孝 氏（ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会）

丸山 博司 氏（東洋美術印刷）

9月25日 高収益企業の選択から読み解く経営戦略

藤井建人（JAGAT）

10月3日 マーケティングをフル活用したデジタル印刷ビジネス

郡司 秀明（JAGAT）

前田 尚子 氏（ユニバーサルポスト）

本間 充 氏（マーケティングサイエンスラボ）

11月7日 プリプレスワークフロー 自動化の潮流と実践

Willem Swigger氏（Enfocus, an Esko company）

清水 清吾氏（オーレ）

11月19日 『印刷白書2024』発刊記念セミナー

藤井建人（JAGAT）

吉村マチ子（JAGAT）

花房賢 (JAGAT)
郡司秀明 (JAGAT)
並木将央氏 (ロードフロンティア)

1月17日 XML・CSS組版の動向と生成AI活用

仁科 哲氏 (和文)
ファイサル・マウラナ 氏 (和文)
小形 克宏 氏 (ビブリオスタイル)
中西 明日輝 氏 (中西印刷)

3月6日 page2025から読み解く印刷の未来

宮本 泰夫 氏 (バリューマシーンインターナショナル)
影山 史枝 氏 (スイッチ)
笹沼 信篤 (JAGAT)

3月19日 トピック技術セミナー2025

松尾 大樹 氏 (モリサワ)
岡山 敏之 氏 (SCREENアドバンストシステムソリューションズ)
曾條 靖之 氏 (ハイデルベルグ・ジャパン)
堀口 康人 氏 (リコー)
木戸 真一朗 氏 (コニカミノルタ)
山田 哲也 氏 (キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ)
荻野 賢 氏 (富士フイルムビジネスイノベーション)

3月31日 印刷メディアのポジショニング分析2025

北原 利行 氏 (電通メディアイノベーションラボ)
三浦 千宗 氏 (日本通信販売協会)
藤井 建人 (JAGAT)

◆研究調査事業

●月刊誌『JAGAT info』の発行 (年12回)

・毎号の連載では、「デジタル印刷最前線」「デジ印奏論」「技術トレンド:グラフィックス」「Education」「経営ウォッチング」「マーケティング情報」「キーワード」「ワールド・プリント・サテライト」など印刷産業の周辺関連情報を広く提供した。

・特集と不定期連載では、5号にわたって掲載する『印刷産業経営動向調査 (業績編・戦略編・新技術サービス編・設備編・需要編)』のほか、「Recreating the Future」「マーケティング・ナウ」「デザイン・トレンド」など、技術・教育・メディア・経営・海外など多面的な視点からタイムリーなトピックを取り上げた。

●『印刷白書2024』 (10月31日刊行)

・印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作した。

●第46回『印刷産業経営動向調査2024』

- ・調査の設計と実施
- ・調査結果の集計・分析
- ・分析レポートのJAGAT infoへの掲載 (7～11月号)
- ・回答社への分析結果フィードバック (9月中旬)
- ・報告会 (9月25日)

- ・報告書の制作・刊行（10月4日）

- 『印刷業毎月観測アンケート』

- ・業況に関する調査・集計・分析・調査結果のフィードバックとJAGAT infoへの掲載

- 『印刷会社のフリーペーパー調査』

- ・調査・集計・分析

- ・調査結果のフィードバック

- ・印刷総合研究会での報告会

- デジタル印刷事例調

- ・実地調査とレポート作成

- ・JAGAT infoへの掲載

- 地域活性ビジネス事例調査

- ・実地調査とレポート作成

- ・JAGAT infoへの掲載

- 印刷関連団体への協力・委員派遣

- ・全日本印刷工業組合連合会

- ・東京都印刷工業組合等

- ・日本印刷学会

- ・日本写真学会

- ・日本出版学会

- ・一般財団法人経済調査会

- トピック技術セミナー

- ・2024 年の印刷関連注目技術を集約して開催

- page2025 カンファレンス

- ・基調講演ほか以下の全7セッションを実施した

- 【基調講演】印刷ビジネスの近未来『完結編』

- 網野 勝彦氏（株式会社研文社）

- 山本 久喜氏（東洋美術印刷株式会社）

- 本間 充 氏（マーケティングサイエンスラボ）

- 郡司 秀明（JAGAT）

- 【C1】2025 年の印刷ビジネス展望 ～BtoB における価値共創の視点から

- 藤井 建人（JAGAT）

- 【C2】印刷会社の商品開発と知財戦略 ～オープンイノベーションに向けて

- 山田 秀生氏（奥村印刷）

- 富沢 充芳氏（朝日印刷工業）

- 藤井 建人氏（JAGAT）

【C3】ビジネスに直結するサステナビリティ

星名 勸 (DIG JAPAN)
篠浦 優希 (アスエネ)
岡本 幸憲 (グーフ)

【C4】印刷ビジネス開発最前線：キャラクターグッズで拓く新市場

三輪 直之 (シンクイノベーション)
金光 俊典 (シンクイノベーション)
河島 弘司 (バリューマシーンインターナショナル)

【C5】未来につなぐ経営の見える化

中本 達久 (中本本店)
花房 賢 (JAGAT)

【C6】会社を伸ばす経営指標の見方（基礎編2） 藤井式KPIメソッドと印刷経営者の実際

河内 克之 (真生印刷)
藤井 建人 (JAGAT)

●印刷標準・カラーマネジメントサポート

- ・印刷会社及び印刷発注者への助言とコンサルティング

●新生児向け予防医療支援「便色カード」

- ・カラーマネジメント技術を提供して母子健康手帳「便色カード」制作を全面支援

●コンサルティング（適宜）

- ・カラーマネジメント分野

- ・企業経営分野

- ・その他

◆資格制度

【上半期報告】

本試験実績（第 62 期試験 8 月 2 日・3 日実施）

申請区分	申請者（人）	前年同期比
マイスター	86	103.6%
エキスパート	108	100.9%
アップグレード	5	38.5%
合計	199	98.0%

更新試験実績（第 62 期更新試験 9 月 1 日～9 月 30 日実施）

更新対象者（人）	申請者（人）	更新率
1,738	1,465	82.5%

- 前年度 3 月実施試験より採用した学科 CBT 方式により、地方在職者にも取り組み機会を広げるべく推進している。（2024 年 8 月実施試験実績：27 都道府県 70 会場にて実施）
- 更新申請率は引き続き 80%台半ばで推移している。人材の重要性が高まる中、継続的学習機会の提供が望まれる。
- 学科問題作成委員会
第 62 期試験問題項目について協議（5 月 29 日）
- セミナー開催
 - ・学科基本知識解説講座をオンライン開催（7 月 5 日）
 - ・企業向け受験対策講座を会場開催（7 月 19 日）
 - ・実技解説及び課題添削講座は通年でオンデマンド実施
- 学科教材 e ラーニング講座開設（7 月開講通年実施）
本試験を CBT 方式に移行したことに伴い、CBT 方式対応の e ラーニング問題演習コースを開設
- 実技解説書籍『DTP エクスパート・マイスターBOOK』発刊（9 月 30 日）
JAGAT 初となる実技解説書を発刊（小ロットデジタル印刷）
1 か月で初回ロット分（200 部）完売となり、増刷

【下半期報告】

- DTP エクスパート認証委員会（10 月 10 日）にて第 62 期試験合否認証、10 月 16 日合格発表
- 問題作成委員会（11 月 21 日）実施 第 63 期試験問題項目について協議
- CBT 方式学科試験の認知向上と受験者増に向けて会報誌 11 月にて特集記事（10 ページ）を掲載
- 第 63 期試験実績（3 月 7 日・8 日実施）

申請区分	申請者（人）	前年同期比（%）
マイスター	42	110.5
エキスパート	84	105.0
アップグレード	18	225.0
合計	144	114.3

エキスパート制度創設後初の実技解説書籍である『DTP エクスパート・マイスターBOOK』発刊により、実技受験者（マイスターおよびアップグレード）が対前期比増加につながった。

- 更新試験 第 63 期試験を 2025 年 4 月に実施

- 「DTP エキスパートカリキュラム改訂第 16 版」 2024 年 12 月発行

- E ラーニング講座

- ・「学科問題演習ドリル」講座申込実績

販売方式	部数
企業	15
個人	62
合計	77

コンテンツ搭載・申込・決済・サービス案内業務フローの完全オンライン化）により、ユーザビリティの向上を実現。

- ・「学科総合解説講座」（e ラーニングプラットフォーム上でのオンデマンド講座）

学科試験全範囲をショート解説動画×50 本、全 15 時間で学習するコースを令和 7 年度上半期開講に向け収録開始。

- 書籍教材

- ・『DTP エキスパート・マイスターBOOK』販売実績

販売方式	部数
JAGAT Book Store	105
Amazon	285
合計	390

- ・「受験サポートガイド」改訂増刷

- セミナー

- ・「学科基本解説講座」7 月 5 日オンライン開催
 - ・「実技解説講座」（随時オンデマンド開催）

- 他団体への協力

- ・アビリンピック東京大会 DTP 競技委員（2025 年 2 月 15 日実施）

◆会 員

会員メリットの高い大型セミナーや page 出展等を訴求していくことで、会員拡大を図る。

*計 画

入会 10 社（再入会 2 社）：page6 社、セミナー2 社、西部支社・その他 2 社

【通期報告】

- ・2024 年度入会実績 11 社（目標 10 社、2023 年度実績 4 社）
- ・退会は上期 12 社、下期 11 社、合計 23 社であった。
- ・退会数は昨年度より 6 社減少、入会が 7 社増加したものの、結果として会員数は期首より 12 社減で、減少傾向は続いている。

●会員状況・会員数

2025 年 3 月末における会員数は以下の通り。

会員数：621 社（内訳＝正会員：608 社／団体会員：5 団体／賛助会員：8 社）

●入退会状況

<入会> ・上半期 7 社（昨年度実績 2 社） ※上期目標 5 社

No.	会員番号	社 名	口数	地区	備 考
4 月	4058	松影堂印刷(株)	2	福岡	新入会
4 月	4059	(株)キョクエツ・コーポレーション	2	神奈川	新入会
4 月	4060	(株)井上総合印刷	2	栃木	再入会
4 月	4061	(株)ソウブン・ドットコム	2	東京(荒川)	再入会
4 月	4062	クラウドサーカス(株)	2	東京(新宿)	再入会
6 月	4063	日本電子計算(株)	2	東京(千代田)	再入会
7 月	4064	(株)ライブアートブックス	3	大阪	再入会

・下半期 4 社（昨年度実績 2 社） ※下期目標 5 社

No.	会員番号	社 名	口数	地区	備 考
10 月	4065	(株)多田紙工	6	埼玉	新入会
11 月	4066	(株)イメージ・マジック	10	東京(文京)	新入会
1 月	4067	光ビジネスフォーム(株)	2	東京(新宿)	新入会
1 月	4068	(株)KADOKAWA KEY-PROCESS	5	東京(千代田)	新入会

<退会> ・上半期 12 社（昨年度実績 15 社） ※上半期退会予測 10 社

No.	会員番号	社 名	地区	理由
1	0039	清水印刷紙工(株)	東京(文京)	諸般の事情
2	0706	(株)北斗社	東京(文京)	会社都合
3	1061	望月印刷(株)	埼玉	親会社の意向
4	1226	(株)桜井グラフィックシステム	東京(江東)	業態変革による顧客の変化
5	1500	大村印刷(株)	石川	親会社の意向
6	1622	NTT 印刷(株)	東京(中央)	諸般の事情
7	1675	(株)日栄	神奈川	事業転換のため
8	2233	東芝テック(株)	静岡	複合機等開発・生産をリコーとの合併
9	2389	(株)音研	埼玉	印刷事業と経費の見直し
10	2950	(株)アイディーエイ	福岡	諸般の事情
11	2967	HOYA(株)	東京(新宿)	会社都合
12	4033	タクトピクセル(株)	神奈川	事業方向性の差異

・ 下半期 11 社（昨年度実績 14 社） ※下半期退会予測 10 社

No.	会員番号	社 名	地区	理 由
1	0328	西川コミュニケーションズ(株)	愛知	事業領域の変更
2	0777	(株)リンクス	岐阜	印刷業務縮小のため
3	1605	三省堂印刷(株)	東京(都下)	諸般の事情
4	1741	(株)イシクラ	埼玉	諸般の事情
5	1966	(株)エムアイシーグループ	愛知	経費節減
6	2136	(株)ボーンデジタル	東京(千代田)	経費節減
7	2232	(株)博報堂プロダクツ	東京(江東)	諸般の事情
8	2872	協友(株)	東京(新宿)	親会社の移行
9	2926	(株)江東錦精社	東京(江東)	経費節減
10	4018	ヨシミ工産(株)	東京(文京)	会社都合により
11	4036	(株)オスカーヤマト印刷	京都	経費節減

◆交流イベント／サービス

●JAGAT大会

オンライン配信とリアル開催を併催したセミナーと懇親会を合わせた「JAGAT 大会 2024」を 10 月 23 日(水)に日本印刷技術協会本社にて開催した。

*実 績 参加者 147 名

<内容>

キーノート：1700 のオープンイノベーション事例から導き出した、誰もが新規事業を生み出せる成功法則

株式会社 eiicon 松本悠嗣氏 / 清水晴紀 氏

研究発表：うまくいく印刷業経営の法則 JAGAT 研究・教育部 シニアフェロー 藤井建人

ディスカッション：page2025「共奏」に向けてー印刷ビジネスの生き残り策

モデレーター：JAGAT 専務理事 郡司 秀明

スピーカー：JAGAT 副会長 山本久喜

奥村印刷株式会社 取締役常務執行役員 山田秀生氏

株式会社マーケティングサイエンスラボ 取締役所長 本間充氏

JAGAT 特別研究員 笹沼信篤

●JAGAT 地域大会 (JUMP)

各地域での開催は行わず、「JAGAT 大会 2024」と統合して実施。

◆page／イベント

【通期報告】

・ page2025 リアル展示会 *テーマ：「共奏」

・ 出展実績：144 社 480 小間（前回 148 社 447 小間）

・ 来場者数：24,580 人（受付通過者人数、前は 21,580 人）

⇒収入実績は計画比 108.3%、前回比 110.7%

- ・page2021以降オンラインで開催していた基調講演を、展示会場内の特設セミナー会場にて開催
- ・日本新聞協会の主催するイベント「新聞製作技術展(JANPS)」とジョイントし、「JANPS in page2025」を開催
- ・「工場ソリューションゾーン」を新設。出展企業 10 社
- ・展示会場内にセミナー会場を設け、出展企業を中心に 16 セッションを実施

◆ 広 告

昨今のデジタル広告の伸長に伴い、旧来メディア、特に雑誌に広告メディアとしての価値が問われてきている。しかし当協会会報誌「JAGATinfo」は読者層は極めて明確であり、ターゲットメディアとしての価値は損なわれてはいない。一方で、単なる広告枠スペースを埋めるだけでなく、page イベントでの施策との連動など、企業自らが価値を見出す「協賛」のような形を引き出す施策を構築していきたい。

*計 画

広告枠 Ji 誌 70 本以上（企画広告 6 本以上を含む）、不定期媒体などの広告枠 10 本以上

【通期報告】

	収入	支出	差益
予算	6,000	800	5,200
実績	4,497	305	4,192
差異	-1,503	-495	-1,008

- ・Ji 誌：定期広告（54 本）

◆ 通信教育

JAGAT の通信教育は、唯一業界に特化した講座を提供できるという強みをもつ。特定時間の拘束や場所・距離といった制約を受けないというメリットとともに、これを広くアピールしていく。中堅規模の企業開拓、そのための内定者教育としての「新入社員コース」を中心としたプロモーションとともに、セミナーのフォローアップ教育としての連携を図る。

*計 画

JAGAT：14 講座+受託販売講座：22 講座 500 名受講

- ・「新入社員コース」の拡販。副教材のオンデマンド動画セミナーを全面に、内定者・新入社員教育への採用促進を進める。
- ・「新入社員コース」からのステップアップ教育としての「印刷技術・基本コース」への流れを促す。
- ・既存大口受注企業の継続受注。

【通期報告】

	収入	支出	差益
予算	9,500	2,800	6,700
実績	8,865	2,417	6,448
差異	-635	-383	-252

- ・「印刷技術・基本」「印刷技術キホンのキ」課題および解説の改訂
- ・「レイアウトデザイン基本講座」課題増刷準備→課題問題改訂チェック
- ・「新入社員コース」内定者教育活用の推進
- ・「印刷技術・基本コース」新入社員教育、フォローアップ教育への採用推進
- ・「通信教育総合ガイド 2025」作成

◆刊行物

JAGAT の情報発信ツールとしてのパブリッシングを継続していく。

『みんなの印刷入門』『新版 DTP ベーシックガイドンス』『オフセット印刷技術』『トラブル解決』などの印刷業界基本図書のテキスト採用等による販売維持。新受験制度となった DTP エキスパート受験促進もからめた対策参考書の販売。『印刷白書』『印刷マネジメントブック』といったコアな統計情報など各種レポート類の発行、拡販を通じて公益事業体としてのパブリッシング、コンテンツ発信に努める。

*計 画

JAGAT 発行 15 点＋受託販売 合計 2,000 冊

- ・基本図書『みんなの印刷入門』及び『新版 DTP ベーシックガイドンス』のテキスト採用に向けたスクールへのプロモーション
- ・『DTP エキスパート受験サポートガイド』受験促進に合わせた PR
- ・基本図書増刷時における内容のアップデート、ブラッシュアップの継続。

【通期報告】

	収入	支出	差益
予算	6,000	2,900	3,100
実績	6,129	3,939	2,190
差異	129	1,039	-910

- ・『新版 DTP ベーシックガイドンス』増刷（第 5 刷）
- ・『みんなの印刷入門』増刷（第 12 版）
- ・『DTP エキスパート受験サポートガイド』改訂
- ・page2025 会場での書籍販売を実施

◆セミナー事業

印刷技術から営業、マーケティング、デザインまで印刷業界に特化した内容でセミナーを展開していく。また、受講者の教育効果を追求するために、グループワークを取り入れての実践型セミナーも強化していく。

*計 画

定期プログラム 45 講座を準備し年間 90 回開催、総受講者数 800 名を予定する。

- ・新入社員向け研修は、2024 年にリニューアルし、会場受講&オンデマンドによるハイブリッド参加ができる学び放題サービスの販売拡大を図る
- ・大型ゼミの販売拡充（工場長養成講座、印刷ビジネス開発実践講座、印刷機長講座）
- ・全国都道府県の方の参加利便性を高めるため、オンラインライブ配信型セミナーにシフトする
- ・繰り返し学習できるオンデマンド配信セミナーの販路を拡大する
- ・講師の発掘及び新規セミナーの開発
- ・生産性向上訓練の受託
- ・個別企業への講師派遣研修の拡充

【通期報告】

	収入	支出	差益
予算	26, 000	8, 500	17, 500
実績	30, 783	8, 908	21, 875
差異	4, 783	408	4, 375

- ・新入社員向けの「学び放題サービス(オンデマンド配信)」に 61 名申込（3,539 千円）
- ・「ゼロから始める Web を受注するための営業術（布施講師）」に 41 名申込（702 千円）
- ・大型ゼミ「印刷ビジネス開発実践講座（3 社）」「印刷工場長養成講座（6 社）」「印刷機長養成講座（4 社）」を開催。今年度は新たに「印刷営業マネージャー養成講座（3 社）」を立ち上げた。
- ・派遣型の企業研修を年間 6 社実施（6,384 千円）。
- ・新人フォローアップ研修（10 月に 3 講座を開講）（701 千円）
- ・生産性向上支援訓練（11 講座開催）
- ・page2025 セミナー6 本を実施（2,305 千円）

■西部支社

*方針⇒支社としての役割の充実

- ・会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。
- ・印刷および関連団体との協力関係をより強化し、情報交換および人材育成の機会を創出する。

*通期報告

- ・セミナー44本（オンライン配信講座22本、個別研修4社、2団体）開催、554名受講。
- ・厚生労働省所管の生産性向上支援訓練9講座開催。
- ・オンライン配信講座の拡充、参加促進のための分割配信を実施。
- ・西部支社移転リニューアルに伴う多目的化および来客対応の改善、会場費削減の継続。

【上半期報告】

- ・25本（オンライン配信講座14本）開催、受講者310名、売上7,397千円。
- ・生産性向上支援訓練（2日間）を6講座実施。
- ・公立学校とのコラボレーションDTP実践講座（神戸2日間）を実施。
- ・大阪印刷関連団体協議会主催セミナーを企画、運営。

【下半期計画】

- ・新たなテーマ、印刷業界に適した講師、講座を開発する。
- ・本社との連携を考慮のうえオンライン配信講座の充実を図る。
- ・西部支社から近畿地域への入会促進および各種情報発信を実施する。

■管理部

*計画

- ・老朽化する施設設備の適切なメンテナンス。
- ・インボイス制度・電子帳簿保存法への適切な対応。
- ・遊休資産の有効活用と社内環境整備。
- ・適正な人材募集活動。

【上半期報告】

- ・役員改選に伴う変更登記及び役員変更届提出(内閣府)。
- ・施設の老朽化に伴う修繕を実施（本館2F事務室空調室外機修理）
- ・インボイス制度・電子帳簿保存法への対応。
- ・欠員に伴う人材補充活動。

【下半期報告】

- ・令和7年度公益法人制度改正及び会計基準改正に伴う情報収集（会計ソフト等）。
- ・遊休保有資産の有効活用・資産運用等検討（情報収集）。
- ・適正な人材補充活動実施。（有料求人広告掲載、page2025会場にて、カジュアル面接実施）
- ・社内バックオフィス業務の効率化と標準化の検討。

■事業報告の附属明細書

2024 年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。

2025（令和 7）年 5 月
公益社団法人 日本印刷技術協会